

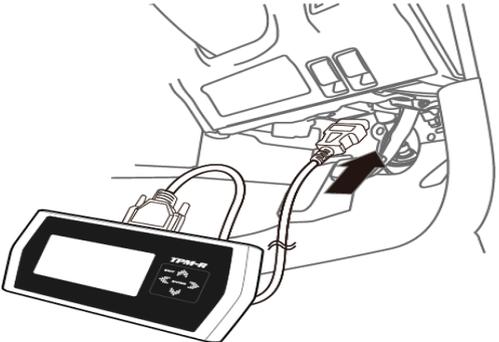
[日野]DPR 強制再生 (例 : ポンチヨ SKG-J05E 2013 年式)

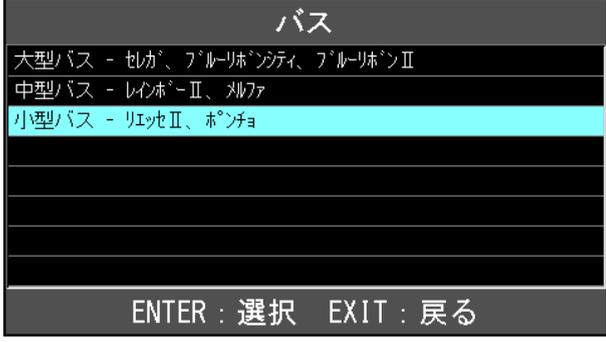
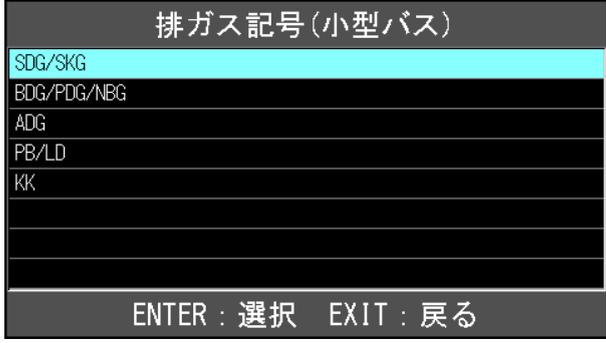
注意 :

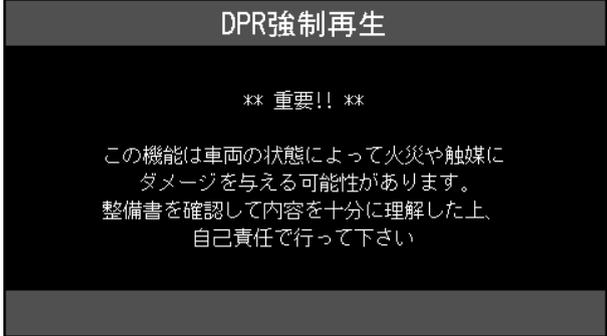
- ・ DPR 強制再生中は触媒や排気温が非常に高温になる為、車両の周囲に燃え移りやすい物を置かないで下さい
- ・ DPR 強制再生は換気が十分に行える場所、風通しの良い場所で行って下さい。
- ・ 作業を行う前に暖機運転を十分に行って下さい。

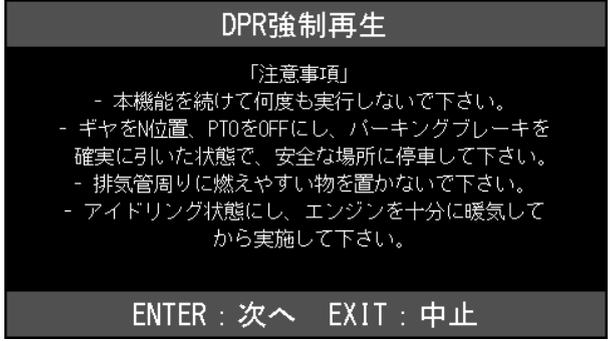
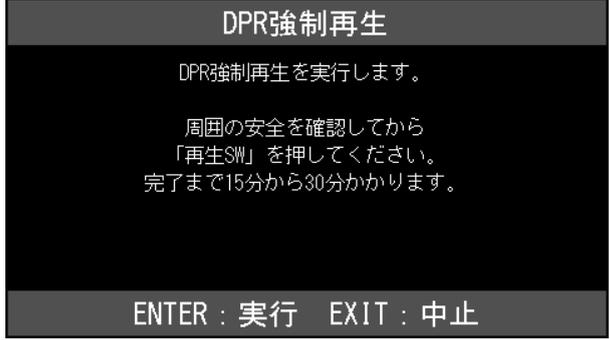
手順/操作

DPR 強制再生

1.	イグニッションが OFF であることを確認し TPM-R を車両に接続します。																	
2.	イグニッションを ON にして下さい。(キースイッチ ON)																	
3.	『メーカー選択』から [国産トラック]→[日野]を選択し[ENTER]を 押して下さい。	<table border="1"><thead><tr><th colspan="2">メーカー選択</th></tr></thead><tbody><tr><td>国産乗用車</td><td>いすゞ</td></tr><tr><td>輸入車</td><td>日野</td></tr><tr><td>国産トラック</td><td>三菱ふそう</td></tr><tr><td>OBDII</td><td>UDトラックス</td></tr><tr><td>HV整備モード</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	メーカー選択		国産乗用車	いすゞ	輸入車	日野	国産トラック	三菱ふそう	OBDII	UDトラックス	HV整備モード					
メーカー選択																		
国産乗用車	いすゞ																	
輸入車	日野																	
国産トラック	三菱ふそう																	
OBDII	UDトラックス																	
HV整備モード																		

<p>4.</p>	<p>『車両分類』 から該当する[分類]を選択し [ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>5.</p>	<p>『バス』 から該当する[車種]を選択し [ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>6.</p>	<p>『排ガス記号』 から該当する[区分]を選択し [ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>7.</p>	<p>『日野メインメニュー』 から[作業サポート]を選択し [ENTER]を押して下さい。</p>	

<p>8.</p>	<p>『作業サポート』から[エンジン]を選択し [ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>9.</p>	<p>『エンジンサポート』から[DPF 強制再生]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>10.</p>	<p>**重要!!**</p> <p>この機能は車両の状態によって火災や触媒に ダメージを与える可能性があります。 整備書を確認して内容を十分に理解した上 自己責任で行って下さい。</p> <p>内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	

<p>11.</p>	<p>「注意事項」</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本機能を続けて何度も実行しないで下さい。・ ギヤを N 位置、PTO を OFF にし、パーキングブレーキを確実に引いた状態で、安全な場所に停車して下さい。・ 排気管周りに燃えやすい物を置かないで下さい。・ アイドリング状態にし、エンジンを十分に暖機してから実施して下さい。 <p>条件が全て整っている事を確認し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>12.</p>	<p>DPR 強制再生を実行します。</p> <p>周囲の安全を確認してから「再生 SW」を押して下さい。</p> <p>完了まで 15 分から 30 分かかります。</p> <p>内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	

13.

車両側の[DPR 再生スイッチ]を押して下さい。
強制再生が開始され約 15~25 分で完了します。
そのままお待ち下さい。

車両の状態、外気温によっては上記時間以上かかる場合があります。

DPR強制再生	
エンジン回転数	698 rpm
差圧	16.60 kPa
DPR排気温(IN)	142 °C
DPR排気温(OUT)	136 °C
燃料噴射量	26.35 mm3/st
エンジン冷却水温	71 °C
再生SWを押す	

DPR強制再生	
エンジン回転数	698 rpm
差圧	16.60 kPa
DPR排気温(IN)	142 °C
DPR排気温(OUT)	136 °C
燃料噴射量	26.35 mm3/st
エンジン冷却水温	71 °C
再生中...	

14.

正常終了しました。
アイドリング状態になるまでお待ちください。

アイドリングが落ち着いたら[ENTER]を押して下さい。

DPR強制再生	
正常終了しました。 アイドリング状態になるまでお待ちください。	
ENTER : 次へ	

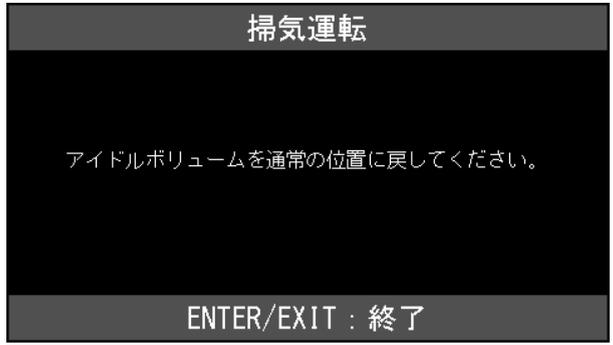
15.

- 掃気運転を 10 分間行います。
- 1.アイドルボリュームを MAX 回転の位置に合わせてください。
 - 2.[実行]してください。

モニタ画面で排気温[IN]の変化などを確認してください。

条件を整え内容を確認し[ENTER]を押して下さい。

掃気運転	
掃気運転を10分間行います。	
1. アイドルボリュームをMAX回転の位置に合わせてください。	
2. [実行]してください。	
モニタ画面で排気温[IN]の変化などを確認してください	
ENTER : 実行	

<p>16.</p>	<p>掃気運転が開始されます。 完了までそのままお待ち下さい。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">掃気運転</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エンジン回転数</td> <td>698 rpm</td> </tr> <tr> <td>差圧</td> <td>16.60 kPa</td> </tr> <tr> <td>DPR排気温(IN)</td> <td>142 °C</td> </tr> <tr> <td>DPR排気温(OUT)</td> <td>136 °C</td> </tr> <tr> <td>燃料噴射量</td> <td>26.35 mm³/st</td> </tr> <tr> <td>エンジン冷却水温</td> <td>71 °C</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">09:56</td> </tr> </tbody> </table>	掃気運転		エンジン回転数	698 rpm	差圧	16.60 kPa	DPR排気温(IN)	142 °C	DPR排気温(OUT)	136 °C	燃料噴射量	26.35 mm ³ /st	エンジン冷却水温	71 °C	09:56	
掃気運転																		
エンジン回転数	698 rpm																	
差圧	16.60 kPa																	
DPR排気温(IN)	142 °C																	
DPR排気温(OUT)	136 °C																	
燃料噴射量	26.35 mm ³ /st																	
エンジン冷却水温	71 °C																	
09:56																		
<p>17.</p>	<p>アイドルボリュームを通常的位置に戻してください。</p> <p>画面表示通りアイドルボリュームを戻し作業完了となります。</p> <p>[EXIT]を数回押し『日野メインメニュー』まで画面を戻し、イグニッション OFF にしてから安全に TPM-R を取り外して下さい。</p>	 <p style="text-align: center;">掃気運転</p> <p style="text-align: center;">アイドルボリュームを通常的位置に戻してください。</p> <p style="text-align: center;">ENTER/EXIT : 終了</p>																
<p>!</p>	<p>強制再生完了後はエンジンオイルの量を確認し、規定量では無い場合は交換を行って下さい。</p>																	